



協議事項（当日資料）

協議事項 7

件名：モントリオール国際大会について

福代 明正

(1)開催日時：2022 年 6 月 23 日(木)～6 月 28 日（火）

(2)開催場所：モントリオール（カナダ）

(3)大会スケジュール（9/29 現在） 変更の可能性あり当日資料 P3～4

詳細につきましては、未だ正式案内がございません。下記大会ホームページをご覧ください

<https://lclcon.lionsclubs.org/ja/attend/about-lclcon/>

上記国際大会、オフィシャル・エージェントとして近畿日本ツーリスト(株)岡山支店としたい。

協議事項 8

件名：日本ライオンズアラート委員会副班長の選出について
MD336 災害対策本部解散について

高岡 英治

336 複合地区アラート委員会副班長の選出について

副班長は各準地区から 1 名を選出する。336 複合地区アラート委員会委員長と副委員長（班長）によって選任され、ガバナー協議会で承認を得る。

【日本ライオンズアラート委員会副班長】

- | | | | |
|------|--------|-----------|------------|
| A 地区 | 田中 元 | たなか はじめ | （高松空港 LC） |
| B 地区 | 井上 哲孝 | いのうえ のりたか | （岡山みらい LC） |
| C 地区 | 細川 晃 | ほそかわ あきら | （福山あい LC） |
| D 地区 | 吉村 あとむ | よしむら あとむ | （安来 LC） |

第 1 回 336 複合地区アラート委員会議事録（2021/10/21 開催）当日資料 P5～9

336 複合地区災害対策本部解散について

10 月 21 日をもって、336 複合地区災害対策本部を解散することを 10 月 21 日開催 336 複合地区第 1 回アラート委員会で取り決めた。

336 複合地区災害対策本部解散通達文書 当日資料 P10



報告事項（当日資料）

報告事項 1（追加）

協議会議長

福永 栄一

【社団日本 L】

仁科理事長との意見交換会（2021/10/21 開催）

理事長ピンの配布について

※REAL 出席の方については机上に配布いたしております。WEB 出席の方でご希望の方につきましては複合事務局までご連絡をお願いいたします。

理事長地元新聞掲載記事……………当日資料 P11

報告事項 2（追加）

LCIF コーディネーター

橋本 充好

LCIF会議 事前アンケートについて

アンケートフォーマット……………当日資料 P12

準地区LCIFに関する組織図依頼に関する件について

来期を検討するため、準地区分を取りまとめた上、複合事務局から **10 月 25 日までに** 橋本コーディネーターへ提出すること。※既に提出期限 10 月 25 日は経過。

⇒10 月 21 日、橋本コーディネーターより、複合事務局へ上記指示があった。
キャビネット事務局より、指示の内容が不明との連絡を受けている。
複合事務局より OSEAL 調整事務局へも指示を仰いだが、回答がないままである。

報告事項 5（追加）

GST コーディネーター

澤 辰水

全日本 GST フォーラム参加呼びかけのお願い

開催案内と申込書……………当日資料 P13～16



大会スケジュール

2022 年 6 月 23 日(木)～6 月 28 日(火)

国際大会(LCICon)の公式行事の会場は
パレ・デ・Congre・Montreal(パレ)とベルセンターです。

6 月 23 日(木)

07:00 – 21:00	FVDG/DGE セミナー	パレ
10:00 – 17:00	事前登録資料受け取り窓口	パレ – Viger Hall
10:00 – 17:00	パレード事務局	パレ – Viger Hall

6 月 24 日(金)

08:00 – 17:00	FVDG/DGE セミナー	パレ
09:00 – 17:00	登録	パレ – Viger Hall
09:00 – 17:00	パレード事務局	パレ – Viger Hall
10:00 – 17:00	展示ホール開館時間	パレ – Hall 220
19:30 – 22:00	地区ガバナーエレクト祝賀晩餐会	パレ – 517 号室

6 月 25 日(土)

09:00 – 13:00	インターナショナル・パレード	未定
09:00 – 17:00	登録	パレ – Viger Hall
10:00 – 17:00	展示ホール開館時間	パレ – Hall 220
15:00 – 16:00	ビジネス・セッション	パレ – 710 号室
18:00 – 20:00	インターナショナルショー	ベルセンター

6 月 26 日(日)

09:00 – 17:00	登録	パレ – Viger Hall
10:00 – 12:00	大会開会式(初日総会) 会長講演、国旗式、第三副会長候補者指名	ベルセンター
10:00 – 17:00	展示ホール開館時間	パレ – Hall 220
12:00 – 17:00	資格証明および投票	パレ – Hall 210
12:30 – 14:30	メルビン・ジョーンズ・フェロー昼食会	パレ – 517 号室
14:00 – 17:00	各種セミナー	パレ

2021 年 9 月 29 日現在の予定(変更の可能性あり)



6月27日(月)

09:00 – 17:00	登録	パレ – Viger Hall
10:00 – 12:00	大会二日目総会、 追悼式、LCIF セッション、基調講演	ベルセンター
10:00 – 17:00	展示ホール開館時間	パレ – Hall 220
10:00 – 17:00	資格証明および投票	パレ – Hall 210
13:30 – 17:00	各種セミナー	パレ
20:00 – 22:00	元国際会長/元国際理事/地区ガバナー/元地区 ガバナー晩餐会	パレ – 517 号室

6月28日(火)

07:30 – 09:30	登録	パレ – Viger Hall
07:30 – 09:30	展示ホール開館時間	パレ – Hall 220
07:30 – 09:30	資格証明および投票	パレ – Hall 210
10:00 – 12:00	大会閉会式(最終日総会) 2022～2023 年度国際会長就任宣誓式、国連国旗 式、2022～2023 年度地区ガバナー就任宣誓式	ベルセンター
19:00 – 21:00	国際役員との集い	パレ – 517 号室

2021 年 9 月 29 日現在の予定(変更の可能性あり)

2022 Montreal Schedule.JA



2021～2022 年度

第 1 回 336 複合地区アラート委員会 議事録

日 時：2021 年 10 月 21 日（木）12：30～14：30

場 所：ホテルグランヴィア岡山 3F「パール」

岡山市北区駅元町 1-5 TEL: 086-234-7000

出 欠

336 複合地区ガバナー協議会議長	福永 栄一	○
336 複合地区アラート委員会担当ガバナー（B 地区ガバナー）	平山 智雄	○
336 複合地区アラート委員会 A 地区顧問	酒井 公一	○
336 複合地区アラート委員会 B 地区顧問	金礪 毅	○
336 複合地区アラート委員会 C 地区顧問	池原 堅	○
336 複合地区アラート委員会 D 地区顧問	澤 辰水	○
336 複合地区アラート委員会委員長	高岡 英治	○
336 複合地区アラート委員会副委員長	小野 宗次	○
日本ライオンズアラート委員会 336 複合地区班長	藤井 信英	○
336 複合地区アラート委員会副委員長		
336 複合地区 IT 特別委員長	大木 寿之	○
336-A 地区アラート運営部門副運営リーダー（※橋本運営 L 代理）	井出 幸彦	○
336-B 地区アラート運営部門運営リーダー	眞治 憲之	○
336-C 地区アラート運営部門運営リーダー	徳毛 直文	○
336-D 地区アラート運営部門運営リーダー	吉村 あとむ	○
336-D 地区緊急・災害・実動部門実動リーダー		
336-A 地区緊急・災害・実動部門実動リーダー	田中 元	○
336-B 地区緊急・災害・実動部門実動リーダー	川本 浩一郎	欠
336-C 地区緊急・災害・実動部門実動リーダー	細川 晃	欠

司会進行：336 複合地区アラート委員会副委員長 小野 宗次

1.開会挨拶

336 複合地区アラート委員会委員長	高岡 英治
--------------------	-------

8月20日の開催が中止となったが、ようやく第1回委員会を対面形式で開くことが出来た。
今回の添付資料は複合地区HPにアップしており誰でも閲覧が可能である。
項目が多い中、2時間という短い時間ではあるが実りある会議にしたい。

336複合地区災害対策本部解散について
10月21日をもって解散することが承認された。

2.出席者紹介

336-B 地区アラート運営部門運営リーダー	眞治 憲之
------------------------	-------

眞治憲之のアラート運営部門運営リーダーより出席者の紹介があり、出欠の確認をした。

3.議長挨拶

336 複合地区ガバナー協議会議長

福永 栄一

10月19日、西日本水害真備復興支援交付金事業の進捗報告会が開催され、GATJapan 中村リーダーがお越しになった。

着工分として、ようやく第1回目の支払いが行われた。また通帳残高が確認された。2021年2月中に事業が全て完了するとの報告を受け、竣工式典についてはB地区真備LCが中心となり開催予定、招待者には、可能であれば山田元国際会長、チョイ元国際会長、現在のLCIF理事長にもご参列いただければと考える。皆様方にもご協力いただきたい。

短い時間ではあるが今後に繋がる会議としていただきたい。

4.担当ガバナー挨拶

336 複合地区ガバナー協議会会計（B地区ガバナー）

平山 智雄

B地区では災害時のボランティア支援に対する社会福祉協議会との協定を進めているが、今後は我々の組織体制自体を整える必要がある。

本日この会議後、日本ライオンズ仁科理事長との懇談会があるので、これらの内容も確認したい。実のある活動ができるよう、皆様方のご協力をお願いしたい。

5.顧問挨拶

336 複合地区アラート委員会顧問（前A地区ガバナー）

酒井 公一

Web会議にも慣れたが、やはり対面での協議も非常に大事である。アラートの活動はライオンズ活動においても会員増強に次いで非常に大事な役目を担っている。アラート委員会は発災時迅速に動ける体制があるかないかで災害救助の差が出てくる。まず全員がLINEグループで繋がりを持っていただきたい。また、シミュレーションを行いたい。

6.議 題

①日本ライオンズアラート委員会に関する報告

高岡委員長より、下記報告があった。

日本ライオンズでは、9/10に第1回アラート委員会、9/24に第1回アラート全体会議が開催された。災害支援運営規則(案)の改定案が出された。改正案は「副班長の任命について／複合地区班長と委員長とが相談の上、委員長が任命する」となっている。336複合地区では班長がABCDで適任者を選んでいただき、委員長の私と協議後、ガバナー協議会にて承認を得る。

（藤井）

日本ライオンズの副班長選任について、今期副班長に選任される4人の内1人は来期日本ライオンズの班長となる。私は今期で班長としての3年任期が終わる。例外的にもう1年再任の可能性もあるが、従来であればこの副班長4人の中から1人の班長が任命される。班長として活動出来る方を選任いただくことを了承いただきたい。

（高岡）

3年を限度として再任可能。来期はキャビネットから1～2名の推薦があると思われる。来期エレクトに対して推薦状を出して選んで頂きたい。ただし全メンバーが入れ替わると引き継ぎに影響する為、変更は半数に留めることを望む。班長・実動部門は即座に動ける方を選んで頂きたい。議長と相談しながら組織を今期中に構築する。

（藤井）

日本ライオンズアラート委員会と複合地区アラート委員会は別組織である。複合地区にはリーダー的存在が8人おり、この内より選任することも大事であるが、班長は発災時迅速に被災地の状況を把握をする必要があり、人選には即行動可能な方をお願いしたい。

(高岡)

実動部門は若い人材が適任である。各準地区の各地域にスムーズな伝達を行うことが重要。10/27に日本ライオンズ第2回アラート委員会が開催される。前回332複合地区からは全副班長が出席した。昨今、西日本での災害が頻発している。アラート委員会を充実させる必要がある。酒井顧問の話にあった、シミュレーションを今期中に1回は実施したいと考える。

(福永)

MD336の副委員長には小野もあり、副班長に含まれないとやりづらくはないか。日本レベルは今まで通り藤井班長と高岡委員長の出席でよいと思う。複合地区で4人選ぶとなると、副委員長である小野副委員長が副班長でも良いのではという意見です。

(藤井)

即座に対応できる方を任命したいという意見を持っている。個人的には日本ライオンズのアラート委員会出席に副班長は4人も必要ないのではと感じる。

(高岡)

準地区に1名の副班長を配置と決まっているので一応決めておき、日本レベルの会議には1名の副班長の出席としたい。

(藤井)

10/27に開催される第2回日本ライオンズアラート全体会議までに選出する。

高岡委員長より下記話があった。

- ・10/27の会議までに副班長の件は小野副委員長も含めて決めたいと思う。
- ・社協と締結状況であるが、A地区は県単位のみ、BCD地区については各市町村との締結も進んでいる。
- ・日本ライオンズアラート委員会は3年目を迎えているがマニュアルが出来ていない。我々は独自に進めていかないといけないと思う。
- ・IT委員会とも連携していかなければいけない。
- ・9/24開催第1回日本ライオンズアラート全体会議（Web）議事録を336が作成した。事務局のご苦勞をたたえる。
- ・本日10/21の会議はIT委員長からの議事録作成にあたっての提案で「音声認識」ソフトを試しに使用している。

池原顧問より下記話があった。

日本ライオンズアラート委員会は発足からすでに3年目。複雑な組織の構造では迅速な活動が不可能である。8月の島根や広島での豪雨災害発災時、複合地区内の情報収集の為、藤井班長が即座に動いたが周囲の応答が遅いと感じた。連絡や報告をスムーズに行う為のフローを構築すべきである。

②336 複合地区アラート委員会組織ならびに運営部門解説（336 複合地区の今後のあり方）

小野副委員長より下記話があった。

- ・日本ライオンズ緊急アラート災害支援運営規則をもとに複合地区用、準地区用を作成したいと考えている。2回目のアラート委員会で検討いただきたい。委員長・副委員長の任期はあと1年あるので任期中に完成させたい。
- ・実動部門と運営部門に分けた理由については、実動部門が資金管理を併用して活動することは困難であり、資金管理は運営部門に担当していただきたい為である。
- ・坂本西日本エリアリーダー（MD335）が今期で任期3年が終了する。後任として藤井班長でお願い出来ないかとの話がある。ぜひ実現していただきたいと希望する。
- ・2020年8月3日一般社団法人日本ライオンズが「災害ボランティア支援に関する協定書」を全国社会福祉協議会と締結した。336内準地区は各県社協との締結を完了した。今後は運営部門リーダーと実動部門リーダーを中心に各市町村社協との締結を進めていただきたい。次回委員会で進捗報告を行っていただく。

- ・複合地区緊急援助資金の使途が明確にされていない。1000万の金額が適正なのか、補填も含めゼロベースで検討する必要がある。

澤顧問より下記話があった。

第4回ガバナー協議会に複合年次大会1600万の余剰金の問題がある。年次大会が中止となり1600万のうち1000万を緊急援助資金に移してはどうかとの議案を提出した。

福永議長より下記話があった。

年次大会費1600万の余剰金返金については、複合年次大会での承認が必要である。また、オリンピック支援金2億円の余剰についても日本ライオンズから聞いている。本来なら皆様へ返金が筋であるが、まず準地区年次大会で決めていただきたい。

オリンピックについては未決算、日本ライオンズからの報告を待っている。

③336 複合地区アラート委員会実動部門解説

藤井日本ライオンズMD336アラート班長（MD336アラート副委員長）より下記話あった。

“支援”と“受援”について

“支援”は金銭についての内容となる。

“受援”は被災時にどのような受援体制が取れるかが重要。

- ①複合地区実動リーダーがRC・ZC・クラブに連絡し現地調査を行う
- ②班長が被災地のリーダーに状況確認を行う。

※災害の状況を即座に判断し、要請が必要であれば副リーダーや準地区アラート委員長・運営リーダーと共に受援体制を整える。

【災害レベル】※対応可能範囲を要検討

ゾーン・リジョン・準地区・複合地区・西日本・全日本

社会福祉協議会との締結について

ライオンズクラブがボランティアに対する支援を提供するという協定内容

協定は今後市町村社協との締結を進めていただきたい。また締結後の連絡や担当者との関係の構築、研修会等の実施をお願いしたい。

社会福祉協議会がボランティアセンターを立ち上げる。ボランティアなくして復興はありえない。一般的にはライオンズクラブのリジョンまたはゾーンがボラセンに隣接して災害対策本部を設置する。そこで物資を荷受けして配布等を行うが、その体制づくりが難しい。

県外から被災地支援に訪れる方をよく思わないガバナーもいる。関係円滑化の為に日本ライオンズアラート委員会が設置されたと聞いている。

行うべき備えについて

①各エリアでのシミュレーション ※今期中に実施希望

②連絡網の構築

③荷受場 ※受援時に物資を確実に受け取る為、道路の寸断等時の対処法も考慮する。

まず物資や水が届かないとアラート活動には値しない。必要物資は日々変化する為、想定と計算をすること。物資購入に関しては被災地域近隣にお金を落とすことも重要。

小野副委員長より下記話があった。

運営部門と実動部門の8人が責任者としてガバナーと相談しながら各社協と締結を進めて欲しい。

IT・MC・ライオンズ情報委員会とアラート委員会について

複合組織にIT・MC・ライオンズ情報委員会とアラート委員会がある。今一度この組織について検

討していただきたい。加えてIT・MC・ライオンズ情報委員会委員長がアラート運営部門副委員長を兼務してはどうか。緊急時のLINEでの連絡網を構築して欲しい。

大木IT特別委員長より下記話があった。

現酒井アラート顧問が第一副地区ガバナーの時アラート委員会の準備が始まった。ITとアラートは切り離せない関係である。

連絡網作成について

発災時に備えて連絡網を作成する必要がある。来月IT委員会を開催するので以上のことを議題としたい。連絡網は災害規模によっても加わる人数が異なる。クラブで受援体制がとれる災害レベル時にはこの全員がLINEで繋がる必要はない。シミュレーションしていくつかパターンを作る。

7.質疑応答

澤顧問より、本日の内容をガバナーや各クラブにどう伝達していくのか、無駄にしないようにとの話があった。

金礪顧問より、下記話があった。

- ・3年前、西日本豪雨を経験したことからこのアラートに関しての議論が始まった。残念ながら期が変わるごとにリセットされ情報が途切れていく。情報の継承こそが最も重要である。
- ・組織化についてはMD335、MD330をモデルにしたいと話が昨年あったかと思う。
- ・本日の会議は音声記録をPCソフトで文字変換されると理解した。
これは経年的に関わったIT特別委員が過去数年の状況を把握しているから事務局職務の改善に繋がった。文字起こしをする事によって会議の省力化が進んだというひとつの成功事例である。

8.その他

A地区田中リーダーより下記話があった。

A地区は昨年、各県社会福祉協議会とキャビネットが締結。今期香川県で9月18日に県社協・JC日本青年会議所・ライオンズクラブの三者で災害ボランティア交流研修を行った。地区ごとでグループワーク実施。災害ボランティアセンターの運営シュミレーションゲームでどんな活動が可能であるか意見交換を行った。この取り組みは四国4県で展開をする。

また今期中に各県社協の災害担当者と1回の会議を行う。各ライオンズクラブと各県社協災害担当が災害ミーティングをする計画を進めている。

9.閉会挨拶

336 複合地区アラート委員会副委員長

小野 宗次

今後は若い40代、50代に引き継ぎ、我々が全面的に前に出ることは控えたい。準地区内でスピーディーな行動がとれる方に活躍いただく為の人選も次の段階として行って参りたい。

※第2回アラート委員会は福山市にて開催

議事録署名人：336 複合地区アラート委員会委員長 高岡 英治
承認年月日：2021年10月25日





2021 年 10 月 21 日

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区
アラート委員会関係各位

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区
ガバナー協議会議長 福永 栄一
アラート委員会委員長 高岡 英治
アラート委員会副委員長 小野 宗次
アラート委員会副委員長 藤井 信英

災害対策本部解散について

336 複合地区ではこの度の豪雨災害にあたり、2021 年 8 月 16 日に災害対策本部を立ち上げ、複合地区内外の災害対応にあたっておりましたが、各地域の現況を考慮した上で、当該本部を一旦解散したいと考えております。

但し、全国各地で不穏な地震が頻発していること等も踏まえ、各種災害発生時には直ちに再設置の上、対応に取り組むことといたします。

日本ライオンズ理事長に就任

に^{しな}科^{りょうぞう} 良三さん(72)



全国に十万二千人の会員を擁する国内有数の社会奉仕団体である一般社団法人日本ライオンズ（東京）の理事長に就任した。昨年五月に設立し、人材育成やボランティア精神の普及などに取り組む関連団体の日本ライオンズ大学校などと協力し「より強い組織にし、その結束力を社会奉仕活動につなげていきたい」と抱負を語る。

長野市出身。自動車販売会社のトップとして長くライオンズクラ

この人

ブで活動し、愛知、岐阜、三重など八県で構成する中部圏（334複合地区）の議長も務めた。

活動は青少年の健全育成、高齢者や障害者の支援など多岐にわたるが、東日本大震災で長野県のライオンズクラブも被災地で支援活動をしたことに触れ「大きな災害には、日本ライオンズとしても食料や飲料水を届けるなどの緊急支援や復興支援を展開していく」と話す。

新型コロナウイルスの感染防止と経済の両立、SDGs（持続可能な開発目標）といった世界的な課題に対しては「新たな生活様式にのっとった活動のうねりをつくらなければならない。日本ライオンズはそのリーダーになつていく」と意欲を見せる。（石川浩）

LCIF会議 事前アンケート

会議では、キャンペーン100終了後もLCIFを通じた人道奉仕に日本のライオンズがしっかりと参加するための体制作りを目指すためのディスカッションを行います。皆様からの回答を事前にまとめ、会議資料と致しますので、地区の現状と取り組むべき課題について下記の質問に回答をご入力ください。尚、このアンケートはSWOT分析の手法に基づいて作成されています。SWOT分析については、別添資料をご参照ください。

提出期限： 10月〇〇日（〇曜日）

提出先： 地区キャビネット事務局

質問1. 日本のライオンズのリーダーは、LCIFのメッセージと活動をクラブレベルまで届け、会員一人ひとりにLCIFを理解いただき、支援いただくことを目指しています。この目標を達成するための地区の強み、弱み、また、地区が今後目標を達成するための機会、あるいは乗り越えなければならない脅威をそれぞれ3つ～5つ挙げてください。

地区の強み	例)	ガバナーをはじめとするキャビネットがLCIFを理解し、協力的である（組織のリーダーシップ）
	1.	
	2.	
	3.	
	4.	
	5.	
地区の弱み	例)	忙しいガバナーのLCIF活動を支えるLCIF委員会の体制が弱い（組織の体制）
	1.	
	2.	
	3.	
	4.	
	5.	
地区にとっての機会	例)	コロナ禍で労力奉仕が難しい中で、寄付による奉仕で世界で困っている人々を助けようという話が心に響く社会情勢
	1.	
	2.	
	3.	
	4.	
	5.	
地区にとっての脅威	例)	不透明なコロナの終息で、活動が計画した通りに進まない
	1.	
	2.	
	3.	
	4.	
	5.	

質問2. 地区のリーダーのLCIFの知識や情報を伝えるスキルをどのように評価されますか？今後スキルアップの研修を企画する場合にどのような研修をすると良いでしょうか？

LCIFの知識	
情報を伝えるスキル	
研修内容	



2021 年 10 月 19 日

ライオンズクラブ国際協会

複合地区ガバナー協議会議長 各位

地区ガバナー 各位

ライオンズクラブ国際協会

GAT 日本全域リーダー

中村 泰久

GAT エリアリーダー (GST 担当)

識名 安信

MD334GST コーディネーター (世話人)

浜島 清美

全日本 GST フォーラム参加呼びかけのお願い

前略 仲秋の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より協議会および地区運営にご尽力されていること、心より敬意を表します。

緊急事態宣言が解除されたものの、まだまだ感染再拡大の波が押し寄せる懸念は拭えず、多面的な配慮が必要な状況が続いているかと存じます。しかしながら、この難局においても尊いアクティビティを実践し続けているクラブも多数あります。そのような、創意工夫を以って積極的な活動に励むクラブを賞賛するとともに、これからの奉仕活動の在り方を学ぶよい機会を創出したい。今後の社会において、ライオンズクラブが必要とされる団体であり続けるための一歩を踏み出したい。そのような思いから、下記のフォーラムを企画いたしました。

国際協会のガイドラインに則り、感染予防対策に配慮した形での開催を企画しております。どうか、貴地区の GST コーディネーター、クラブ会長・クラブ奉仕委員長を中心に参加の呼びかけをしていただけるよう、お願いいたします。

草々

記

開催テーマ 『広げよう感動の奉仕 ～いまライオンズクラブができること～』

日 時 2021 年 12 月 1 日 (水) 受 付 13 : 00
会 議 13 : 30 ~ 16 : 00

場 所 川崎市産業振興会館 1F ホール
住所 神奈川県川崎市幸区堀川町 66-20
電話 044-548-4111

内 容 ・ 奉仕活動で回す GAT の好循環
・ 優秀アクティビティの実践報告
・ グループディスカッション

参加対象者 ・ 地区 GST コーディネーター
・ クラブ会長 ・ クラブ第一副会長 ・ クラブ奉仕委員長
・ 新たな奉仕活動に関心が高いメンバー など





募集人数 現地参加：定員 100 名 Zoom 参加：定員 150 名

【複合地区別募集人数】

複合地区	現地参加	Zoom 参加
MD330	20	25
MD331	10	15
MD332	10	15
MD333	10	15
MD334	15	25
MD335	15	25
MD336	10	15
MD337	10	15
計	100	150

登録料 2,000 円

※別紙申込書にて複合地区事務局にて準地区ごとに参加者を取りまとめていただき、申込と共に各複合地区より一括してお振込みをお願いいたします。尚、申込後の返金はいたしかねますのでご了承ください。

振込先

銀行・支店名 みずほ銀行 京橋支店

預金種目・口座番号 普通預金 NO. 2090372

口座名 ライオンズクラブ国際協会 330 複合地区ガバナー協議会

議長 村木 秀之

(ライオンズクラブコクサイキョウカイ 330 フクゴウチクガバナーキョウギカイギチョウムラキヒデユキ)

申込締切り 2021 年 11 月 19 日（金）までに MD330 事務局まで登録申込書をメールにてお送りください。 Mail: ions@md330.jp CC: GATJapan@lionsclubs.org

お問合わせ 内容についてのお問合わせは、OSEAL 調整事務局 GAT スペシャリスト畠山までお願いいたします。 Mail: GATJapan@lionsclubs.org

※現地参加の皆様へ

フォーラム前後の期間を含め、新型コロナウイルス感染防止の徹底をお願いいたします。

全国からメンバーが集結するためには、安心して参加できることが大切です。現地参加の方は、ワクチン接種あるいは自主的な検査（PCR・抗原検査）による陰性確認をお願いいたします。（ライオンズの公徳心から特に証明書の確認はいたしません。）

尚、当日は会場受付にて検温およびアルコール消毒をお願いしております。37.5℃以上の発熱がある場合は会場へ入ることができません。予め体温測定をされることを推奨いたします。また、会場内ではマスクの着用をお願いいたします。





<会場アクセス>

羽田空港国際線ターミナル駅より京浜急行線により京急川崎駅（約 15 分）

東京駅より JR 東海道本線により JR 川崎駅（約 17 分）



以上

